

岐阜商工会議所

令和3年度経営発達支援計画評価委員会

議事録

- 日時 令和4年3月10日(木) 13時00分～14時00分
場所 岐阜商工会議所 4階 常議員会室 (+オンライン)
議題 (1) 委員長選任について
(2) 経営発達支援計画について
(3) 経営発達支援計画の各事業に対する事業評価・提言について
(4) 経営発達支援計画策定の総評について
(5) その他

参加者 ○委員 9名

岐阜商工会議所	副会頭	廣田 孝昭 氏
岐阜県商工労働部	商工政策課長	桑田 善晴 氏
	(代理出席 団体支援係長)	小椋 一平 氏)
岐阜市経済部	商工課長	松田 耕治 氏
	(代理出席 商工課主任)	青山 秀男 氏)
大野経営労務事務所	代表	大野 実雄 氏
名古屋税理士会	岐阜北支部長	深川 祐司 氏
岐阜商工会議所	専務理事	森 健二
同	常務理事	河尻 満
同	支援課課長(法定経営指導員)	福地 優子
同	相談課課長代理(法定経営指導員)	小島 清隆

○事務局 14名

岐阜商工会議所	理事兼中小企業相談所長	市村 敦史
同	中小企業相談所振興部産業振興課課長	鬼頭 貴士
同	〃 支援部支援課課長代理	野倉 拓也

経営支援員 他

浅野冴香、森島 悠、山田成大、村上慶伍、三浦隆史、山口仁美
磯野拓実、野村文久、田中 強、竹市 亨、大澤将人

内 容

議題(1) 委員長選任について

廣田委員を委員長に選任。

議題（２）経営発達支援計画について

事前に説明を実施しており、割愛。

議題（３）経営発達支援計画の各事業に対する事業評価・提言について

事務局より、資料３に基づき実績報告の概要について事業成果事例を交え説明を行い、各事業毎に委員が協議し、達成度に対する ABCD 評価および評価結果に基づく提示、今後の展開・改善点等について意見が出された（詳細は下記評価表のとおり）。また、事業評価対象ではない「8. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること」「9. 経営支援員等の資質向上等に関すること」、「10.他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること」、「11.地域経済の活性化に資する取組に関すること」について、事務局鬼頭課長より概要説明を実施した。

<評価表>

区分	実施内容	事業の目標	評価	提示	今後の展開 改善点等
I. 経営発達支援事業の内容					
3-1.地域の経済動向調査に関すること	国が提供するビッグデータの活用/中小企業景況調査/独自景況調査の実施/日商 LOBO 調査/他機関の調査報告資料の収集・活用	<ul style="list-style-type: none"> ・地域経済動向の正確な分析の実現 ・国の提供するビッグデータ活用による分析と既存の管内景況調査とを合わせた総合的な分析結果を管内小規模事業者の事業計画策定に活かし、中長期の経営ビジョンを持つよう、支援する。 	A	ア	特になし
3-2.需要動向調査に関すること	展示会・商談会・各種イベント等の会場における商品アンケート調査/日経テレコンのデータ活用	<ul style="list-style-type: none"> ・客観的な需要動向データを収集・整理・分析して事業者に提供し、真に消費者ニーズを踏まえた事業計画策定、販路開拓支援を実現する。 	C	ア	コロナ禍という状況は承知しているが、できる方法を工夫して行ってほしい。
4.経営状況の分析に関すること	経営分析を行う事業者の発掘/経営分析の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者自身が認識していない、あるいはまだ顕在化していない経営上の強みや弱み、問題点や根本的な経営課題を抽出できる経営分析を実施する。 ・分析においては、支援員の主観やスキルの差に影響を受けない様、定型フォーマッ 	A	ア	オンラインの方が時間の制約もなく、セミナー等受講しやすい側面もあると考えられるため、コロナ禍等も踏まえ、状況に応じてオンラインを上手に活用し、セミナー等の支援を実

		トを活用し正確な分析を実施する。			施していく事。
5.事業計画策定支援に関すること	「事業計画策定セミナー」の開催/事業計画の策定支援/創業支援の実施	・補助金申請や資金調達のための場渡り的な事業計画策定ではなく、経営分析によって抽出した経営課題に対し、目標の姿やそこにいたるまでの改善等の具体的なアクションも踏まえた事業計画策定支援を実施する。	A	ア	特になし
6. 事業計画策定後の実施支援に関すること	定期訪問や電話・メール等でのヒアリングによる進捗状況の把握と見直し支援/事業計画策定フォローアップセミナーの開催/創業計画策定後の実施支援	事業計画の遂行が後手に回りがちな小規模事業者に対し、定期フォローにより計画遂行意欲の向上を図るとともに、適時計画内容変更の有無を見極め、必要に応じて専門家と連携しながら問題解決を行い、計画遂行をフォローアップしていく。	B	ア	コロナ禍も2年を経過したので、了承の得られる事業者への巡回訪問の実施や、デジタルツールを活用したオンラインでの支援など、事業者との接点を増やし、反転攻勢できる工夫をすること。 創業支援も目標巡回頻度をクリアするように、オンライン活用をするなどして工夫し、目標未達ならなにがどれだけ足りないか数字で明確化すること。
7. 新たな需要の改悪に寄与する事業に関すること	展示会出展事業/商談会参加事業/商店魅力発掘事業/合同記者発表会等のメディアへの情報発信による販路拡大事業/ECサイトへの掲載による販路拡大事業	小規模事業者が不得手としている販路や販売チャネル開拓に対し、当所がもつ各種メディア等とのネットワークやスケールメリットを活かした商談会、展示会などを活用し、販路開拓、情報発信の一助となる事業を展開していく。また参加事業者増のため	B	ア	まちゼミ・おしえ店長サンについては、本来の趣旨が商店街全体の活性化にあるため、個店の魅力発信とともに商店街全体の活性化につながる事業としてリアル開催の模索、実行を

		に、支援員一人ひとりが事業に対する理解度を深め、訴求力向上を図るとともに、事前セミナー等で事業者のブラッシュアップ支援を行う。加えてイベント終了後の事業者の成果を把握し、分析、改善を実施していく。		期待。 合同記者発表会については、大きな効果が得られている為、継続して事業者支援に活用していく事。
--	--	--	--	--

【評価基準】

- A：目標を達成することができた（100%）
- B：目標を概ね達成することができた（80%～99%）
- C：目標を半分程度しか達成することができなかった（30%～79%）
- D：目標をほとんど達成することができなかった（30%未満）

【評価結果に基づく提示】

- ア：事業継続
- イ：事業改善
- ウ：代替事業への必要性
- エ：事業廃止

議題（4）経営発達支援計画の総評について

まず事務局より個社支援成果として支援事例13件を提示し、うち三浦経営支援員より販路開拓支援について、野倉経営支援員より創業支援について事例発表を行った。事例発表並びに各事業の発表を踏まえ、岐阜県の小椋係長より「事例の様な事業者に丁寧かつ寄り添った支援は非常に心強い。商工会議所ならではの支援の強みを活かして、今後も小規模事業者を支えてほしい」とのご意見をいただいた。

総評として、各事業者に対し伴走型の支援を実施し、非常に多くの支援実績を挙げ、小規模事業者の期待に応えてきたことは評価に値し、また多くの項目で目標達成であると認められる。

今後は、上記で指摘した改善点を踏まえ事業を遂行すること、特にコロナ禍も3年目になり、今まで控えてきた巡回などの事業者との接点について、オンラインなど各種ツール等も用いて多く創出し、反転攻勢に出た事業者支援の実施が求められている。また、今後も続くと思われる厳しい情勢の下、商工会議所への期待は更に大きなものとなるとの熱いエールを頂き、事業者に寄り添った伴走型の支援を続けていくよう要望された。

議題（5）その他

なし